

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年5月10日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	68	14	1	21	43	79
令和7年	86	18	3	40	39	100
前年同期比	-18	-4	-2	-19	4	-21

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	3	4.4%	0	0	2	1	3
	後立山	25	36.8%	9	1	5	15	30
	その他	3	4.4%	0	0	3	1	4
計	31	45.6%	9	1	10	17	37	
中央アルプス	6	8.8%	0	0	0	7	7	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	11	16.2%	3	0	3	7	13	
その他の山岳	20	29.4%	2	0	8	12	22	
計	68		14	1	21	43	79	

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	17	25.0%	3	0	16	0	19
転倒	3	4.4%	0	0	3	0	3
病気	6	8.8%	3	0	0	3	6
道迷い	13	19.1%	0	0	0	17	17
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	4.4%	2	0	1	0	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	7	10.3%	2	0	0	5	7
不明・他	19	27.9%	4	1	1	18	24
計	68		14	1	21	43	79

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	1	0	5	6	24	0	0	0	2	2	9	8	33
20代	1	0	2	11	14		0	0	0	4	4		18	
30代	1	0	0	3	4	42.9%	1	0	0	2	3	39.1%	7	41.8%
40代	4	0	4	2	10	22	1	0	1	0	2	10	12	32
50代	4	0	3	5	12	39.3%	0	0	4	4	8	43.5%	20	40.5%
60代	1	0	3	4	8	10	1	0	2	0	3	4	11	14
70以上	0	0	2	0	2	17.9%	0	0	0	1	1	17.4%	3	17.7%
計	11	1	14	30	56		3	0	7	13	23		79	
比率	70.9%						29.1%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (5/7~5/10)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
5月9日	高妻山	女	52	負傷	滑落	3人パーティで下山中、雪に足を滑らせ滑落、負傷
		男	59	負傷	滑落	
						上記遭難現場写真
5月10日	戸隠連峰 本院岳	女	46	死亡	滑落	2人パーティで登山中、雪に足を滑らせて、滑落
5月10日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	男	71	行方不明	不明	単独で鹿島槍ヶ岳に入山し、行方不明

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、3件の山岳遭難が発生しました。
 うち、2件は雪渓上でスリップして滑落した遭難です。
 この時期、雪解けが進み、雪の下から徐々に登山道が現れますが、急斜面や日当たりの悪い斜面では、固く締まった雪渓が残ります。
 表面がカチカチの雪面に対しては、チェンスパイクでは太刀打ちできません。
 また、アイゼン、ピッケルを装備していても、スリップした直後に滑落停止しなければ、滑落を止めることは困難です。
 アイゼンを装着して慎重に足を進め、万が一スリップした場合は、把持したピッケルを即座に使用し、素早く滑落を停止しましょう。
 適切な装備の選択と、装備を使用すべき状況での確実な判断、慎重な行動をお願いします。